

令和元年度

事業報告書

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日



公益財団法人 セディア財団

令和元年度事業報告書

平成31年4月1日より令和2年3月31日まで

令和2年6月

公益財団法人セディア財団

代表理事 渡邊 元

1. 概 要

当財団は、自然体験活動による国民の環境意識の増進とスポーツ教室等の開催による国民の健全で豊かな人間性の構築に寄与することを目的として、平成25年4月1日に一般財団法人セディア財団として設立、平成25年8月22日に公益認定を頂いて、公益財団法人セディア財団として、より充実した事業に取り組んできました。

事業内容は、自然体験、農業体験、スポーツを通じて健康で活力に満ちた心身とも豊かな人間を育てること、そして、コンテスト事業により時代を担う青少年の育成を図ることです。

事業年度7年目となる令和元年度は、第5回目となる「全国小学生わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテストの実施と新規の公益事業として、平成29年12月11日に変更認定の申請を行い、当財団の4つ目の公益目的事業として平成30年2月23日付で認定された、全国農業高校生対象の「明日の農業レポートコンテスト」事業を中心に実施致しました。

2. 事 業

【1】自然体験、野外活動及び農業体験事業（公1）

児童や青少年に向けてフィールドワークを実施し、自然体験ガイドやインタープリター(人と自然との仲介をする自然環境の専門家)の方の指導のもと、自ら自然と向き合うことで環境に対する意識を高め、心身ともに豊かで健全な人間の育成と障がい者の自立支援を図り、また、高齢者に向けては自然体験活動の指導者として自立し生涯現役の持続を図ることを目的で事業を推進しております。

令和元年度は、当財団が設立以来、実施してきた子供たちを対象にした自然体験活動事業を「アウトドアチャレンジ野外力検定」と称し、全国に普及促進するため、全国の様々地域で自然体験活動を行っているガイド等の人たちの意見を踏まえ、野外力検定を初めて行う子供たちを対象にした「ガイドブック」の制作に力を入れました。また、青少年育成と高齢者の生涯学習事業として毎年取組みしている農業体験事業について、春の田植え体験、秋の収穫体験を通じて実施することが出来ました。

(1)自然体験活動 ガイドブックの制作

日本の教育は、従来から「家庭教育、学校教育、社会教育」の3区分とされ、学校教育では、「知・徳・体」を柱とした「生きる力」の育成に注力してきました。更なるテーマとして、「生き抜く力」を設定し「生きた知識や使える技能」「未知に対する思考力・判断力、決断力」そして「学びを社会に生かそうとする人間性」の向上と実現のために「主体的・対話的で深い体験から学び」が不可欠となっています。

自ら学び自ら考える力は、様々な体験活動を通じて育成されることは誰もが承知しているところです。しかしながら、多くの子供たちは家庭や地域での体験活動が少なく、学校行事としての「施設見学」や「林間学校」等に限られているのが現状です。そこで、まず外遊びの面白さに気づき、日常的な体験行動につながることを目指し、参加しやすくゲーム感覚で取り組み、その習得成果を認識できる教材を目指して、野外力検定ガイドブックを制作することと致しました。

- ・2018年4月～2019年3月 取材、原稿編集
- ・2019年5月 ガイドブック発刊



(2)農業体験事業

① 青少年育成・高齢者生涯学習事業

～地球環境を考える田植え体験～

- ・実施日 2019年6月1日(土)
- ・実施目的 青少年育成事業並びに高齢者生涯学習事業として、地元、小諸市、上田市、佐久市在住の子供とその家族を小諸市の棚田で、地元の農業経験者である高齢者の方々を指導者として田植え体験を実施しました。少子高齢化により農業地域の後継者不足によって離農が進む中、地元に住しながらも農業を知らない子供たちに農業の大切さを伝えること、地元の高齢農業者が生きがいをもって農業を維持できることを目的としました。
- ・実施場所 長野県小諸市菱野地区上の原棚田
- ・参加人数 33名(子供15名、保護者18名)
- ・農業体験指導 地元農家10名、小諸市農林課職員1名ほか



② 青少年育成・高齢者生涯学習事業 ～棚田で稲刈り～

- ・実施日 2019年10月5日(土)
- ・実施目的 地元、長野県小諸市周辺に在住しながらも農業を知らない子供とその家族を対象に、小諸市の棚田で地元高齢農業従事者の方を指導者として、稲刈り体験を実施しました。子供たちに農業の大切さ、お米作りの大変さを伝えること、地元の高齢農業者が子供たちを指導することで自らの生きがいを見い出せるような体験していただくことを目的としました。
- ・実施場所 長野県小諸市菱野地区棚田
- ・参加人数 25名(子供12名、保護者13名)
- ・農業体験指導者 地元農家8名、小諸市役所農林課1名ほか



【2】スポーツ教室及び競技会の開催(公2)

子供や高齢者、障がい者を対象に、スポーツ教室を実施し、併せて技能向上を主眼とした競技会を開催することで、心身ともに健全で豊かな人間性の滋養を図ることを目的とします。令和元年度は、昨年度に続き、視覚障がい者を対象としたブラインドスキー大会を1回開催いたしました。

○「視覚障がい者スキー教室・ブラインドスキー大会支援事業」

- ・実施日 2019年1月11日(土)～13日(月)
 - ・1月11日 8時40分 開会式 終日ブラインドスキー教室
 - ・1月12日 9時～ ブラインドスキー大会(タイム計測)
 - ・1月13日 8時45分 ブラインドスキー教室 午後閉会式
- ・実施目的 視覚障がい者の方に健康維持、積極的な社会参加意識の醸成を図り、スポーツを通じて明るく豊かな生活を送るための支援を目的に、ブラインドスキー教室並びに大会を開催しました。
- ・実施場所 長野県小諸市高峰高原 アサマ 2000 パークスキー場
- ・参加人数 視覚障がい者 16名、
- ・指導者 ブラインドスキーコーチおよびサポーター 16名



【3】水に関するかべ新聞コンテスト事業（公3）

【事業の目的】

人の体は60%が水で構成され空気と共に水無しでは生きられません。また、地球は「水の惑星」と呼ばれていますが、地球に存在する水分の約97.5%は塩分を含む海水で人類が使える水は微量で淡水はわずか2.5%しかありません。その淡水も約70%は南極や高山の氷河で残りの30%の大半も地下に浸透し、私達が利用できる河川や湖水等の淡水は地球に存在している総量の0.01%とされています。この微量で貴重な淡水により地球上の全ての動植物が存在しています。世界的に見ると人口の増大に伴い生活用水や農業用水の需要も増大し水不足が発生するといわれています。さらに世界の人口70億人の13%、約10億人が水道施設の未整備からきれいな水が手に入られず、汚れた水や悪い衛生環境により、たくさんの子供たちが健康を害しているといわれています。

我が国では、明治20年に英国から輸入した水道管を敷設し水を供給し始めたことが近代水道の始まりといわれて以来、衛生的な生活環境に必要なインフラとして急速に整備され、水道普及とともに伝染病もほとんど撲滅されて衛生環境は飛躍的に改善されました。このように大切な水についての学習は学校教育でも大変重要な位置づけとなっています。特に小学校では、3年生から4年生の社会科の単元「地域の人々の生活に必要な飲料水」などを中心に、水の循環や水道の仕組みを学習し、社会科見学でも、多くの小学校が水の関連施設を見学します。また、他の学年や教科（理科、家庭科）・総合的な学習の時間などでも「環境学習」の一環として取り扱うことが多いテーマとなっています。このような背景から「自然環境の源である水の大切さから環境保護を学ぶ」事業の1つとして、「水のはたらき」かべ新聞コンテスト事業を行うことにより、児童、青少年の健全な育成ならびに公衆衛生の知識向上を促進することを目的とし、平成27年3月11日付で「水に関するかへ新聞コンテスト事業」が公益事業として認定されました。令和元年度も第5回目となる全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテストを実施いたしました。

【事業内容】

(1) 事業概要

- | | |
|--------|---|
| ① 事業名称 | しらべてみよう、たいせつな水のこと
第5回全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞
コンテスト2019 |
| ② 主催 | 公益財団法人 セディア財団 |
| ③ 後援 | 下記の8団体 <ul style="list-style-type: none">・全国市町村教育委員会連合会・全国連合小学校長会・全国小学校社会科研究協議会・全国小学校理科研究協議会・日本初等理科教育研究会・全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会・全国新聞教育研究協議会・全国小中学校環境教育研究会 |
| ④ 対象 | 全国の小学生
個人またはグループでの応募も可
海外の日本人学校も含む |
| ⑤ 募集内容 | わたしたちのくらしに欠かすことのできない、大切な水
について調べたり、学習したことなどを「かべ新聞」や
「学習新聞」 |
| ⑥ テーマ | わたしたちのくらしと水 テーマ例は下記の通り <ul style="list-style-type: none">・もし水がなかったら？・つたえよう！水の大切さ・学校や家で使う水はどこからくるのかな？・使ったあとの水はどうなるの？・わたしたちの地域の水じまん・井戸ってなに？ むかしの水とくらし・世界の国の水事情・水の不思議を探してみよう・植物や作物などを上手に育てる水のやり方・家族でチャレンジ、節水とエコ |
| ⑦ 募集対象 | 小学生1年生～6年生 |

- ⑧ 募集方法 全国の小学校へポスター、チラシを送付
日本経済新聞で告知広告を掲出
- ⑨ 募集締切り 2019年10月10日(木) 当日消印有効
- ⑩ 審査委員会
- ・一次審査 小学校現役教諭を中心に依頼。ノミネート作品を選出する。
 - ・最終審査 一次審査のノミネート作品の中から一次審査の審査委員長、有識者(大学教授等複数人)、財団理事長で最終審査を行う。
- ⑪ 表彰発表 公益財団法人 セディア財団ウェブサイトならびに
日本経済新聞で発表広告を掲出

⑫ 賞と賞品

【個人またはグループ賞】

- ◇最優秀賞 1作品
賞状、記念楯、副賞(図書カード5万円分)
- ◇セディア財団特別賞 1作品
賞状、記念楯、副賞(図書カード3万円分)
- ◇優秀賞 4作品
賞状、記念楯、副賞(図書カード2万円分)
- ◇準優秀賞 10作品
賞状、副賞(図書カード5千円分)
- ◇佳作 20作品
賞状、副賞(図書カード千円分)
- ◇努力賞 65作品
賞状、副賞(図書カード500円分)

【学校賞】

- ◇学校優秀賞 1校
賞状、記念楯、副賞(図書カード5万円分)
- ◇学校賞 5校
賞状、副賞(図書カード3万円分)

【応募者全員】

- ◇参加賞 応募者全員に記念品(蛍光ペン)

⑬ 予備審査・一次審査会委員

- 予備審査 都内小中学校教諭 25名
- 一次審査 都内小中学校教諭 12名

⑭ 最終審査委員

【審査委員長】

- ・角屋 重樹 日本体育大学大学院教育学研究科長

【審査委員】

- ・北 俊夫 (一般財団)総合初等教育研究所参与
- ・吉村 潔 全国小学校社会科研究協議会会長
／世田谷区立烏山北小学校校長
- ・森内 昌也 全国小学校理科研究協議会会長
／葛飾区立北野小学校校長
- ・野尻 史子 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会／北区立滝野川もみじ小学校校長
- ・菅野 茂男 全国新聞教育研究協議会会長
／世田谷区立船橋希望中学校校長
- ・渡辺 元 公益財団法人 セディア財団理事長

(2)事業実施スケジュール

2019年

- 4月
 - ・かべ新聞作品募集要項案の検討
 - ・募集用ポスター、チラシ案の検討
 - ・応募の手引の制作検討
 - ・募集用新聞広告の検討
 - ・審査委員体制の検討
- 5月
 - ・かべ新聞作品募集要項の決定
 - ・募集用ポスター、チラシの決定
 - ・応募の手引の制作
 - ・募集用新聞広告の決定
 - ・審査委員体制の決定
 - ・全国の小学校への作品募集の案内を開始(5000校)
- 6月
 - ・募集用新聞広告の掲載
- 7月
 - ・作品募集の推進、学校からの問い合わせ対応
- 8月
 - ・作品募集の推進、学校からの問い合わせ対応

- 10月
- ・10月10日(木) 作品応募締切
 - ・応募総数 4,613作品(応募校188校)
 - ・10月17日～25日 予備審査の実施
 - ・10月28日(月) 一次審査会の実施
東京都中央区八丁堀 京華スクエアにて実施、
一次審査の結果、下記の101作品を選出
 - 最終審査ノミネート作品 40作品
 - 努力賞候補作品の決定 61作品
 - 学校奨励賞候補校の推薦校選出
- 11月
- ・11月26日(火) 最終審査委員会の実施
東京都千代田区大手町 日本経済新聞社東京本社7階会議室
で実施、入賞作品を決定した。
 - ・入賞者へ学校を通じての通知
 - ・主催者財団のウェブサイトに入賞作品の発表
 - ・入賞作品新聞発表の手配
- 2019年
- 1月
- ・1月7日(火) 最優秀受賞者の学校である豊橋市立岩田小学校を
訪問し、受賞者に表彰状、記念楯、副賞を授与
 - ・1月30日(木) 日本経済新聞にて最優秀作品を発表
- 2月
- ・入賞作品対象学校へ賞状、記念楯、副賞の図書カード送付
- 3月
- ・入賞作品集の制作

2019年11月26日
最終審査会の様子



(3)入賞者について

- ・次の審査結果の通りです。

第5回 セディア財団 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト2019 審 査 結 果

【応募総数】 4,613作品 【応募校数】 188校

【最優秀賞】（1作品）

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
愛知県	豊橋市立岩田小学校	4年	川畑 綾音	水とわたし

【セディア財団特別賞】（1作品）

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
東京都	早稲田大学系属早稲田実業学校初等部	4年	加藤 優由	水道水が飲める国新聞

【優秀賞】（4作品）

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
千葉県	船橋市立二宮小学校	4年	辻 有愛	下水道の役割
神奈川県	湘南白百合学園小学校	4年	相蘇 仁那	横浜水新聞
滋賀県	滋賀大学教育学部附属小学校	4年	園山 遼一郎	浄水場新聞
福岡県	福岡雙葉小学校	5年	西村 聖珈	わたしたちとくらしの水新聞

【準優秀賞】（10作品）

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
茨城県	つくば市立竹園西小学校	4年	杉本 晴希	わき水新聞
埼玉県	所沢市立並木小学校	4年	中野 琴音・嘉屋 陽太	一日の水の量 未来の水新聞
千葉県	千葉市立園生小学校	4年	笠川 心美	ちよつと昔の水新聞
千葉県	市原市立有秋東小学校	4年	早田 菜実・醍醐 翼・宮原 煌季・齋藤 美月・丸塚 かのん	市原の水は日本一うまい
東京都	早稲田大学系属早稲田実業学校初等部	4年	藤田 龍之介	最初の一滴
滋賀県	滋賀大学教育学部附属小学校	4年	水井 柊人	ウォータータイムズ動物特集号
大阪府	大阪教育大学附属天王寺小学校	4年	植田 稟都	水の魅力新聞
大阪府	大阪教育大学附属天王寺小学校	4年	堺谷 綾真	水はだれのもの？世界の国の水問題と争い
高知県	香美市立大宮小学校	4年	黒岩 想乃	水のつながり
福岡県	福岡雙葉小学校	5年	末石 梨紗	下水道新聞

【佳 作】（20作品）

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
兵庫県	加古川市立若宮小学校	3年	渡部 俊輝	くらしと水
群馬県	太田市立旭小学校	4年	藤澤 勝猛	じょう水場新聞
千葉県	船橋市立二宮小学校	4年	澤田 瑞稀	くらし
東京都	杉並区立桃井第四小学校	4年	平原 夏音	大切な水
東京都	杉並区立桃井第四小学校	4年	野谷 沙優	命の水
東京都	杉並区立桃井第四小学校	4年	西山 愛珠	水大好き
東京都	板橋区立上板橋第四小学校	4年	江田 琴葉	大事な水新聞
東京都	板橋区立上板橋第四小学校	4年	飯島 千尋	わたしたちの水新聞
東京都	府中市立新町小学校	4年	和田 七海	命を守る水新聞
東京都	早稲田大学系属早稲田実業学校初等部	4年	仁田山 結花	江戸の水道から東京の水道
神奈川県	横浜市立菊名小学校	4年	青池 映水	ヨコハマの水新聞
神奈川県	横浜市立菊名小学校	4年	渡辺 結梨	水のヒミツ新聞

滋賀県	滋賀大学教育学部附属小学校	4年	藤本 晟名	琵琶湖疏水新聞
長崎県	長崎市立形上小学校	4年	高瀬 優陽・塩田 雫月・長尾 鈴煌・ 深浦 皇輝・山下 知夏	みんなの水新聞
鹿児島県	霧島市立富隈小学校	4年	河野 愛瑠	世界の水新聞
千葉県	習志野市立屋敷小学校	5年	萩本 蒼士・中村 璃子・箕輪 一沙	水について
千葉県	習志野市立屋敷小学校	5年	鴨志田 仁胡・清水 秀真・ 壁 知綾子・上本 智世	いろはす
京都府	南丹市立園部第二小学校	5年	野中 悠依	環境にやさしい水新聞
東京都	板橋区立金沢小学校	6年	井上 光子	お江戸の水事情新聞
大阪府	羽曳野市立高鷲小学校	6年	井上 倫	ベトナムの水と人々のくらし新聞

【努力賞】（65作品）

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
千葉県	千葉市立園生小学校	3年,2年	荒井 迦音・荒井 紫音	大切な水新聞
北海道	札幌市立三角山小学校	4年	川島 果蓮	水道新聞
北海道	根室市立花咲小学校	4年	本間 咲羽	浄水場新聞
宮城県	大崎市立川渡小学校	4年	湯山 花音・佐藤 心愛・ 小川 智央・岡田 芹七	水とくらし新聞
山形県	天童市立長岡小学校	4年	今田 陽菜	水みず新聞
山形県	天童市立長岡小学校	4年	柴田 凜	水のふしぎ
福島県	いわき市立小名浜第三小学校	4年	山野辺 大祐	大切な水の旅新聞
茨城県	つくば市立春日学園義務教育学校	4年	竹井 絢花	水 E C O 新聞
群馬県	太田市立旭小学校	4年	今井 奏良	浄水場新聞
群馬県	藤岡市立平井小学校	4年	荻原 舞	水新聞
埼玉県	さいたま市立上小小学校	4年	東條 颯花	水の種類新聞
埼玉県	さいたま市立上小小学校	4年	鶴田 優花	下水道新聞
千葉県	市川市立八幡小学校	4年	杉山 心春	水新聞
千葉県	市川市立八幡小学校	4年	久保田 健	ジャンボ
千葉県	千葉日本大学第一小学校	4年	石井 花奈	水のはじまりから終
東京都	足立区立古千谷小学校	4年	上野 柚	みんなの水新聞
東京都	板橋区立上板橋第四小学校	4年	春田 桜乃	色々な水の工夫新聞
東京都	世田谷区立烏山北小学校	4年	川津 千里	水はとってもだいじ新聞
東京都	足立区立古千谷小学校	4年	鎌田 真心人	ウォーター新聞
東京都	早稲田大学系属早稲田実業学校初等部	4年	佐野 豪	災害時の水新聞
神奈川県	横須賀市立船越小学校	4年	高村 恵太	日本の水道事業
神奈川県	横浜市立青木小学校	4年	西村 凌	水は大切新聞
神奈川県	横浜市立杉田小学校	4年	油井 ひかり	水の豆ちしき新聞
神奈川県	横浜市立日野南小学校	4年	橋本 瑛菜	生活の水新聞
神奈川県	横浜市立日吉南小学校	4年	清家 大誠	よみがえる水新聞
新潟県	長岡市立前川小学校	4年	木間 菜南	みんなの水新聞
長野県	上田市立神科小学校	4年	秋山 慶太	上田市水新聞
静岡県	静岡市立伝馬町小学校	4年	佐野 歩美	地下水新聞
大阪府	大阪教育大学附属天王寺小学校	4年	中山 諒一	挑戦！！どこまで水を大切にできるのか？！
大阪府	大阪市立大隅西小学校	4年	古川 美侑	くらしの水道水の旅
大阪府	大阪市立三軒家東小学校	4年	黒川 真央	水新聞
大阪府	大阪市立三軒家東小学校	4年	田垣内 怜衣	水は大切新聞

大阪府	豊中市立東豊中小学校	4年	濱田 享祐	くらしに必要な水！！
大阪府	豊中市立東豊中小学校	4年	小林 莉子	身近な水新聞
大阪府	豊中市立東豊中小学校	4年	坂本 美音	水の大切さ新聞
兵庫県	神戸市立魚崎小学校	4年	儀間 たまら	兵庫の「水」新聞
兵庫県	神戸市立住吉小学校	4年	岡田 幸暖	水の事新聞
兵庫県	神戸市立住吉小学校	4年	下元 渚桜	大切に使おう水新聞
兵庫県	高砂市立北浜小学校	4年	青木 埜乃・川本 一颯・澤田 奈緒・宮本 翔真・渡邊 愛斗	水ニュース
兵庫県	西宮市立香櫨園小学校	4年	田中 りこ	西宮の水
兵庫県	播磨町立蓮池小学校	4年	木村 莉心	水の色々新聞
兵庫県	播磨町立播磨小学校	4年	中村 歩乃佳	水は大切新聞
山口県	長門市立油谷小学校	4年	植木 風花	水はどこから？新聞
徳島県	鳴門市撫養小学校	4年	後藤 結月	水のいろいろなすがた
高知県	香美市立大宮小学校	4年	辻井 すみれ	大切な水新聞
福岡県	北九州市立黒崎中央小学校	4年	竹中 陽莉	水について知ろう
福岡県	行橋市立今川小学校	4年	伊藤 衣琉・木村 優成・帆足 柚葉	水と紙新聞
福岡県	行橋市立今川小学校	4年	高橋 優心	水の不思議新聞
福岡県	宗像市立河東小学校	4年	伊東 優菜	水辺新聞
福岡県	宗像市立河東小学校	4年	朴 相宇・田中 璃・福井 怜瑛・吉田 七海	水と緑新聞
長崎県	長崎市立高島小学校	4年	瀧辻 朋佳	水新聞
熊本県	熊本市立桜木東小学校	4年	中尾 希美・久枝 聖来・原 悠悟・山村 虎珀	熊本の水新聞
鹿児島県	鹿児島市立鴨池小学校	4年	徳留 奈緒	節水新聞
鹿児島県	鹿児島市立黒神小学校	4年	山元 杏純	水はおもしろい新聞
鹿児島県	霧島市立富隈小学校	4年	中島 ゆりな	水について新聞
鹿児島県	霧島市立中福良小学校	4年	藤本 海咲	水は大切新聞
沖縄県	那覇市立銘苅小学校	4年	入慶田本 紗良	水新聞
群馬県	桐生市立東小学校	5年	金井 莉依子	桐生川新聞
千葉県	千葉市立園生小学校	5年	中村 羽那	私の体の中の水新聞
千葉県	習志野市立屋敷小学校	5年	田中 玲奈・松下 海斗・尾形 柊哉・川松 和真・杉本 春妃	自然の恵み
岐阜県	養老町立広幡小学校	5年	矢野 晴菜	水新聞
京都府	南丹市立園部第二小学校	5年	栗栖 凜	汚水と水新聞
徳島県	徳島市渋野小学校	5年	清水 来夏・城 美希	水と体新聞
千葉県	船橋市立習志野台第一小学校	6年	天池 郁花	木曽三川の治水 水と生きるために
沖縄県	沖縄市立山内小学校	6年	山内 英紗	いのちと水

【学校優秀賞】

都道府県	学校名
東京都	早稲田大学系属早稲田実業学校初等部

【学校賞】

都道府県	学校名
滋賀県	滋賀大学教育学部附属小学校
大阪府	大阪教育大学附属天王寺小学校
千葉県	千葉市立園生小学校
神奈川県	横浜市立菊名小学校
兵庫県	神戸市立住吉小学校

【４】明日の農業レポートコンテスト事業（公４）

【事業の目的】

農林水産省の平成２９（２０１７）年の耕地及び作付面積統計によれば、全国の農地面積は、４４４万４千haとなっており宅地等への転用や耕作放棄等により前年と比較し２７千ha減少しています。１０年前の平成１９年の４６５万haから比較すると２１万haも減少しました。また、同省の農業労働力に関する統計の平成２９年全国農業就業人口調査では１８１．６万人と平成２２年調査の２６０万人から約８０万人も減少し、農業従事者の高齢化も大きな問題となっています。新規就農者の促進、若手従事者の育成が日本農業の大きな課題であります。

一方、教育の分野では、農業高校が後継者育成や学科関連の技術者の育成を中心とし、いわゆる「職業高校」として農業後継者あるいは新規就農者の即戦力として期待されていました。しかし、我が国の高度な経済発展の中で時代に対応すべく、農業機械、農業土木、農業経済、食品製造、食品化学、微生物利用、バイオテクノロジーといった新たな教科、科目を教育課程に導入し、「職業高校」→「実業高校」→「専門高校」へと教育内容を変えて今日に至っています。さらに、農業高校への入学者は、全国的な農業従事者の減少や産業構造の変化から農家出身者は減少の一途をたどり、生徒が多様化するとともに、その進路も多様化してきています。このような流れの中で農業高校の方向性は、後継者及び関連技術者育成を中心とした「農業を教える」教育から、専門性と特性を生かした「農業で教える」豊かな人間作り教育へと変わりつつあります。平成２２年１０月文部科学省発行の「高等学校学習指導要領解説 農業編」においても改善の基本方針として、「将来のスペシャリストの育成という観点から専門分野の基礎的・基本的な知識、技術及び技能を身に付けるための教育とともに、社会に生き、社会的責任を担う職業人としての規範意識や倫理観を醸成し、豊かな人間性の滋養等にも配慮した教育を行うことが重要である」とし、改善の具体的事項の１つとして、「自然やものとのかかわり、命を守り育てるという職業意識の特長を生かし、職業人として必要な人間性を養うとともに生命・自然・ものを大切にする心、規範意識、倫理観を育成する」と示されています。このようなことから、本財団が主催を予定する高校生が描く「明日の農業レポートコンテスト」事業は、全国の農業高校生に、農業に関する諸問題について、主体的に、かつ倫理観をもって解決する方法を思索し、「環境保護と農業生産の調和、持続的かつ安定的な農業と社会の発展」を考える機会を与え

ることは有意義であると同時に、本財団の定款の目的に定めている通り、「環境保護を学び、(略)健康で活力に満ちた心身ともに豊かな人間を育てることで、時代を担う青少年の育成、(略)を図り、健康で豊かな社会の構築に寄与することを目的とする。」に合致するものであります。

【事業内容】

(1) 事業概要

- | | |
|--------|--|
| ① 事業名称 | 高校生が描く明日の農業コンテスト |
| ② 主催 | 公益財団法人 セディア財団 |
| ③ 後援 | 全国農業高等学校長協会
日本学校農業クラブ連盟 |
| ④ 対象 | 全国の農業高校に通う高校1年生、2年生 |
| ⑤ 募集内容 | 「農業を元気にする」をテーマにしたレポートを募集する。
原稿用紙8枚以内(2000字～3000字程度)
パソコン、ワープロからの印刷可。日本語で執筆された自作の未発表作品に限る。 |
| ⑥ テーマ | わたしたちが暮らす上で欠かすことが出来ない農業は、どうすれば持続可能で生産的な産業になるのか、農業高校に通う生徒の日々の学びの中から「自分ならこうする!」と考えた農業に関するあらゆるアイデアをまとめたレポートを募集する。テーマ例は下記の通り。 <ul style="list-style-type: none">・収穫を増やすためには・多品種化でリスクを減らす・新たな出荷調整方法・生産性の向上と施設園芸の活用・これからの販路開拓に向けたアイデア・IoTを駆使した次世代農業に向けたアイデア |
| ⑦ 募集方法 | 農業高校、農業系教科・科目を学ぶ高校生を対象とし、全国の約400校へ「募集要項」を送付。さらに日本学校農業クラブ連盟(注)の会誌や同クラブ連盟主催の全国大会誌への告知広告を掲出。 |

(注)日本学校農業クラブ連盟とは、東京都に事務局をおく、農業科や総合学科をもつ高等学校に属する生徒の団体で、378校、85,511名のクラブ員(高校生)が所属する。

- ⑧ 募集締切り 2019年4月12日(金)
- ⑨ 審査委員会
- ・一次審査 農業高校の現役教諭を中心に依頼。最終審査にノミネートする作品を選出
 - ・最終審査 農業高校現役校長、財団理事長で審査。
 - ・審査のポイントは、提案の具体性、提案の実現性、提案の独創性
- ⑩ 表彰発表 公益財団法人 セディア財団ウェブサイト並びに応募高校への告知で行う。
- ⑪ 賞と賞品
- [個人賞]
- ◇最優秀賞 1名 賞状、記念楯、副賞
- ◇金賞 3名 賞状、記念楯、副賞
- 最優秀賞及び金賞の副賞は、オランダの施設園芸農場研修旅行(4泊6日)
- ◇銀賞 5名 賞状、副賞(図書券3万円)
- ◇銅賞 10名 賞状、副賞(図書券3万円)
- [学校賞]
- ◇学校奨励賞 多数の作品を応募された高校に授与
3～5校 賞状、楯

(2)事業実施スケジュール

2019年

- 1月
- ・全国農業高等学校校長会を通じてコンテストの予備的アナウンスを行う。
- 2月
- ・農業高校、農業系教科・科目を学ぶ高校生(1年生、2年生)を対象とし、全国の約400校へ「募集要項」を送付。
- 4月
- ・4月12日(金)作品の応募締切
 - ・レポート作品 206点の応募有り。応募高校は34校

- 5 月 ・ 5 月 2 9 日 (水) 一次審査会の実施
 一次審査会 審査委員長
 徳田 安伸 日本学校農業クラブ連盟 常務理事
 東京都立園芸高等学校 校長
 ○最終審査ノミネート作品 2 7 点の選出
 ○学校奨励賞候補校の推薦 4 校の選出
- 6 月 ・ 6 月 1 1 日 (火) 最終審査会の実施
 最終審査会
 委員長 福島 実 群馬県勢多農林高等学校長
 日本学校農業クラブ連盟理事長
 委員 並川直人 東京都立農産高等学校長
 日本学校農業クラブ連盟 副理事長
 委員 小堀卓二 東京都瑞穂農芸高等学校長
 日本学校農業クラブ連盟 常務理事
 委員 渡邊 元 公益財団法人セディア財団理事長
- 最優秀賞 1 名、金賞 3 名、銀賞 5 名、銅賞 1 0 名の
 決定
 ○一次審査会推薦による学校奨励賞候補校 5 校の内、
 2 校は優秀な作品を多数応募されたとのことで、
 主催者の財団理事長の決裁により、2 校を特別学校
 奨励賞として称え、2 校を学校奨励賞とした。
- ・ 入賞者へ学校を通じて通知
 ・ 主催者財団のウェブサイト審査結果を掲出
- 7 月 ・ 最優秀賞、金賞を除く各入賞者へ学校を通じて各賞状、
 楯、副賞を送付
- 8 月 ・ 8 月 1 7 日 (土) 最優秀賞、金賞の表彰式を実施
 ・ 8 月 1 8 日 (日)～8 月 2 3 日 副賞のオランダ施設
 園芸農場研修旅行を実施



(3)入賞者について

- ・ 次の審査結果の通りです。

第3回高校生が描く「明日の農業コンテスト」受賞者一覧

最優秀賞

学校名	学年	氏名	作品名
山形県立庄内農業高等学校	3年	畑山 滉人	在来野菜とともに歩む私の未来

金 賞

学校名	学年	氏名	作品名
熊本県立八代農業高等学校泉分校	2年	南田 怜美	森+農+畜 ～イノブタが繋げる地域の未来～
広島県立世羅高等学校	3年	向井 壮大	鯉魚醤を世の中に広めたい！！
栃木県立宇都宮白楊高等学校	3年	宇部 慎二	農業経営の継承について

銀 賞

学校名	学年	氏名	作品名
広島県立世羅高等学校	3年	友宗 龍希	小さなミツバチから革命を起こす
広島県立世羅高等学校	3年	重本 怜央	受け継がれる農業を次世代に
高知県立高知農業高等学校	3年	横田 銀大	高知の農業の活性化案 ～アグロフォレストリー農園としてブランド化を目指す～
栃木県立鹿沼南高等学校	2年	部屋 希美	山の救世主「わさび」
岩手県立盛岡農業高等学校	3年	佐藤 里江	小さな村の大きな未来

銅 賞

学校名	学年	氏名	作品名
東京都立園芸高等学校	3年	秋山 幸希	都会でも農業を身近に
北海道遠別農業高等学校	3年	大木 ひかり	農業村で地域を活性化！ ～観光、農業、住居の3つの役割を果たす agrivillage～
熊本県立南陵高等学校	3年	酒井 健志	「ガラノー」で農業先進国へ
宮城県小牛田農林高等学校	3年	及川 慎太郎	QRコードで消費者と繋がる農業へ
岩手県立大船渡東高等学校	2年	水野 みか	私がつなぐ、祖父母の思い
福島県立岩瀬農業高等学校	3年	紺野 響	B級農産物からブランド農産物へ
広島県立世羅高等学校	3年	荒木 舞桜里	世羅茶復活に向けて ～イタリアスローフード世界大会に参加して～
島根県立出雲農林高等学校	3年	今岡 玲奈	農業は日本の宝
愛知県立安城農林高等学校	3年	宮本 朱理	美魔女エッグで日本を元気に！！～私たちのエグプロ研究活動～
島根県立出雲農林高等学校	3年	野尻 ひなの	農業を元気にするために

特別学校奨励賞

学校名
岐阜県立加茂農林高等学校
島根県立出雲農林高等学校

学校奨励賞

学校名
群馬県立勢多農林高等学校
岩手県立盛岡農業高等学校

3. 処務・管理

(1)理事・監事に関する事項

・理事定数 3名以上6名以内 現在 3名 任期2年
・監事定数 1名 現在 1名 任期2年

役職	氏 名	勤務 形態	就任年月日	辞任年月日	職 務
代表 理事	渡邊 元	非常勤	平成29年6月26日	—	渡辺パイプ株式会 社 代表取締役 社長
理事	山口 章	非常勤	平成29年6月26日	—	NPO法人アウトドア ライフデザイン開発 機構 専務理事
理事	串田 妙子	非常勤	平成29年6月26日	—	インテリアコーディネ ーター
監事	井戸川 成	非常勤	平成29年6月26日	—	井戸川成会計税務 事務所 公認会計士

(2)評議員に関する事項

・評議員定数 3名以上6名以内 現在 3名 任期4年

役職	氏 名	勤務 形態	就任年月日	辞任年月日	職 務
評議員	松木 康雄	非常勤	平成29年6月26日	令和元年 12 月 9日(死亡)	渡辺パイプ株式会 社 取締役

評議員	藤野 八男治	非常勤	平成29年6月26日	—	藤野八男治税理士事務所 税理士
評議員	西山 彩乃	非常勤	平成29年6月26日	—	ノイエスト総合法律事務所 弁護士
評議員	渡邊 圭祐	非常勤	令和元年12月16日	—	渡辺パイプ株式会社 代表取締役 副社長

(3)職員に関する事項

役職	氏 名	勤務 形態	就任年月日	辞任年月日	職 務
事務局長	近江 幹男	非常勤	平成25年4月1日	—	渡辺パイプ株式会社 経営企画室

(4)会議に関する事項

① 理事会

開催年月日	場 所	議 事 事 項	結 果
令和元年6月7日	財団事務所	決議事項 第1号議案 平成30年度事業報告書、貸借対照表、正味財増減計算書、附属明細書及び財産目録の承認の件 第2号議案 評議員会招集の件 報告事項 職務執行及び財務の状況	可決

令和元年6月25日	財団事務所	決議事項 議 案 代表理事選任の件	可決
令和元年12月13日	財団事務所	決議事項 議 案 評議員会招集の件	可決
令和2年3月4日	財団事務所	決議事項 第1号議案 令和2年度事業計画書案、 収支予算書案並びに資金調 達の見込みを記載した書類 案の承認の件 第2号議案 評議員会招集の件 報告事項 職務執行及び財務の状況	可決

② 評議員会

開催年月日	場 所	議 事 事 項	結 果
令和元年6月25日	財団事務所	決議事項 第1号議案 平成30年度事業報告書、貸借 対照表、正味財増減計算書、 附属明細書及び財産目録の承 認の件 第2号議案 理事3名選任の件 第3号議案 監事1名選任の件	可決
令和元年12月16日	財団事務所	決議事項 議 案 評議員1名選任の件	

令和2年3月23日	財団事務所	決議事項 議 案 令和2年度事業計画書、収支 予算書並びに資金調達及び設 備投資の見込みを記載した書 類の承認の件	可決
-----------	-------	---	----

(5)寄付金に関する事項

寄付年月日	寄 付 者	目的	区分	金額（単位 円）
平成31年4月1日	渡辺パイプ株式会社	公3	預金	27, 000, 000
(令和元年) //	//	公4	預金	17, 000, 000
//	//	管理	預金	6, 000, 000
合 計				50, 000, 000

寄付年月日	寄 付 者	目的	区分	金額（単位 円）
令和2年3月31日	渡辺パイプ株式会社	公3	預金	27, 000, 000
//	//	公4	預金	17, 000, 000
//	//	管理	預金	6, 000, 000
合 計				50, 000, 000

※公3 水に関するかべ新聞コンテスト事業のために使用

※公4 明日の農業レポートコンテスト事業のために使用

※管理 法人の運営管理のために使用

(6)内閣府 公益法人行政担当への提出、申請

届出年月日	届 出 内 容
令和元年6月26日	平成30年度事業報告書等の提出
令和2年3月30日	令和2年度事業計画書等の提出

以上